

## THE NORTH FACE CUP 2026 競技ルール

---

### 1. 予選・準決勝(セッションラウンド)

---

#### 1-1. 対象課題(番号範囲)

【予選】各カテゴリー10 課題／競技エリア数 10

【準決勝】各カテゴリー6 課題／競技エリア数 8

カテゴリー:WD4

予選(番号):1～10 番

準決勝(番号):1～6 番

カテゴリー:WD3

予選(番号):3～12 番

準決勝(番号):3～8 番

カテゴリー:WD2

予選(番号):6～15 番

準決勝(番号):6～11 番

カテゴリー:WD1

予選(番号):9～18 番

準決勝(番号):18～23 番

カテゴリー:U8

予選(番号):2～11 番

準決勝(番号):2～7 番

カテゴリー:U10

予選(番号):4～13 番

準決勝(番号):4～9 番

カテゴリー:U12

予選(番号):6～15 番

準決勝(番号):7～12 番

カテゴリー:U15W

予選(番号):9~18番

準決勝(番号):10~15番

カテゴリー:U15M

予選(番号):15~24番

準決勝(番号):12~17番

カテゴリー:MD5

予選(番号):4~13番

準決勝(番号):4~9番

カテゴリー:MD4

予選(番号):7~16番

準決勝(番号):6~11番

カテゴリー:MD3

予選(番号):10~19番

準決勝(番号):9~14番

カテゴリー:MD2

予選(番号):13~22番

準決勝(番号):11~16番

カテゴリー:MD1

予選(番号):16~25番

準決勝(番号):24~29番

---

## 1-2. 競技の進め方

---

各カテゴリーの競技タイムスケジュールで指定された時間内に課題(コース)をトライしていき、完登した課題数で順位を決定します。

競技エリアは仕切られており、好きなエリアに並んでトライできます。

※競技時間はカテゴリーにより異なります。

---

### 1-3. トライ・判定ルール

---

課題のスタートホールドには番号が付いており、各カテゴリーで指定された番号の課題を登ります。

各カテゴリーのトライする課題番号は、大会リアルタイムリザルトページに表示されません。

※リアルタイムリザルトは大会前に公式 Instagram にて発表致します。大会会場へも掲示されています。

トライは、選手の身体の全てが地面から離れた時に開始するものとします。

トライ開始後、地面、またはマットに身体の一部が触れてしまった場合トライを中断し、並び直しになります。

スタートの条件は棒テープの張られたホールドに手足（手は手首より先、足は足首より先）の4点を置いた状態でスタートします。

スタートポジションに着く際に登る課題以外のホールドは使用してはいけません。使用してスタートしてしまった場合は、トライは無効となり並びなおしになります。

四点支持できていない状態でスタート以外のホールドを使用した場合はトライを中断して降りて並びなおしになります。

その他、条件付きの課題があった場合必ず取り付きに表示してあります。課題についての不明点は競技開始前にスタッフへお尋ねください。

競技前や競技中、トライ開始前に課題のスタートホールド以外は触ってはいけません。

また、ハリボテにホールドがついており、そのホールドに直接ゾーンを印している場合は、ハリボテを保持しても有効となりません。ゾーンの印しているホールドを保持して有効となります。

完登は TOP の表記をしてあるホールドを両手で保持した時に有効となります。

※必ずジャッジに完登の OK を確認してからおりにください。ジャッジの確認が取れていない場合は、完登とみなされません。

ゾーンポイント(課題の中間ポイント※Z と表記)はゾーンがついているホールドを保持した時のみ有効です。(タッチや振られ落ちの場合認められません。)

ゾーンポイントには Z①と Z②があり、Z①を使わずに Z②を保持した場合は、Z①も保持したことになります。完登した場合は、Z①と Z②を保持したことになります。

なお、保持については TNFC2020 以降からオリジナルルールとして、ホールドの一部を静止して指で触る状態をつくることができたなら、保持とみなします。

---

#### 1-4. 競技エリア・使用禁止箇所

---

エリア間の境界線テープを越えて足を壁にスメアリングすることは OK ですが、境界線を越えて手や足でカンテ・凹角を使用することは禁止致します。

また、壁の形状(カンテ、凹角)を使うことは OK ですが、壁の末端を使うことは禁止します。リップは壁の末端以外は使用可能です。

ハリボテ(形・素材は様々)は、コースで使用しているカラーホールドと同一カラーの場合、またはコース(別のカラーホールド)のホールドがついている場合のみ使用可能です。

例えば緑色のコースでグレーのボリュームに緑がついていた場合は、緑色のコースもそのグレーボリュームを使用できます。

その他、取り付けに表示がない場合手足がふれることを禁止致します。

デマケーションテープが貼ってある場所から、手足が出て壁に触れたり使用することは禁止です。

※エリア分けは黒色テープ。デマケーションテープの色はシルバーです。大会当日ご確認下さい。

トライ中、登っている課題以外のホールドを使ってはいけません。

間違っていて使用してしまったり触れてしまった場合、使用前のポジションに戻れたときは、競技をそのまま続行できます。

戻れなかった場合は、そのトライを中断してください。その時点での高度まで有効となります。

---

#### 1-5. クリーニング

---

クリーニングはジャッジに声をかけてブラッシングしてもらってください。

また、ご自身でブラッシングしたい場合はジャッジに声をかけてブラッシングしてください。

※競技開始前、待機している際のブラッシングもジャッジに声をかけてブラッシングしてください。

---

#### 1-6. ボルト穴・ホールド破損対応

---

壁のボルト穴を手で使用することは禁止と致します。

競技中にホールドの破損又は回転などそのエリアが競技ストップしてしまった場合は、1回につき全体の競技時間を最大5分延長とさせていただきます。

ホールド破損時にその課題をトライしていた本人を最優先で競技再開とさせていただきます。

ホールドが破損した場合、代替りのホールドを用意いたします。

チーフセッターの判断の元、コースの変化がない適したホールドを用意いたします。

---

#### 1-7. 結果記録・抗議

---

結果をリアルタイムに表示するため、ジャッペーパーを使わずに競技を行います。

受付の際に配布されるゼッケンを衣服に張り付けての競技となります。

競技時は各エリアのジャッジにゼッケン番号とトライする課題番号を伝えてから登ってもらいます。

初日の予選に使用したゼッケンは翌日新たにゼッケン(番号同じ)を配布致しますので競技終了後にはがしてしまっても大丈夫です。

トライ後は必ずジャッジ結果を確認し、ジャッジに誤りがないかを確認してください。

ジャッジに間違いがある場合は、

①競技中の場合、登り終わった後必ずジャッジの結果を確認してその場でジャッジへ抗議をしてください。

②競技後の抗議は、競技終了後の5分間のみ本部受付にてお受けしますが、映像など証拠となるものがない場合は受け付けません。

**映像を用意いただけない方は、トライ直後にジャッジに必ず確認をしてください。**

競技終了後の5分以内に抗議がなかった場合は正式リザルトとします。それ以降の抗議は無効となります。

順位は完登数の多い順番で決まります。

完登数が同じ場合はZ②の数で順位をつけます。

さらに同着の場合は、Z①の数で順位をつけます。

---

## 1-8. 競技時間終了と最終トライ

---

競技の制限時間内に壁にとりついている(スタートしている)場合は、最終トライは有効となります。

競技時間を計測しているタイマーが0までに、各エリアのジャッジが「トライしている選手が完全にマットから離れている」と判断した場合に最終トライを認めます。

---

## 1-9. 予選通過人数・準決勝同着・アイソレーション

---

予選通過人数は上位順で以下になります。

U-8(10位まで)、U-10(12位まで)、U-12W/M(10位まで)

U-15W(10位まで)、U-15M(10位まで)

Women's Division4(10位まで)、Women's Division3(10位まで)、Women's Division2(10位まで)

Men's Division5(10位まで)、Men's Division4(10位まで)、Men's Division3(10位まで)、Men's Division2(10位まで)

Women's Division1(7位まで)、Men's Division1(11位まで)

翌日の準決勝で同着が出た場合は、本戦予選の結果をもとに順位を確定します。  
(準決勝結果に反映されます)

※Division1 男女は予選結果は適用されません。

全クラス準決勝終了後、正式に決勝進出者を発表致します。

名前を呼ばれた方はすみやかに指定した、アイソレーションルーム(2F ボルダールエリア)に移動して頂きます。

アイソレーションクローズの時間はタイムスケジュールに記載されます。

クローズの時間になって現れない選手は失格となる可能性があります。

また、アイソレーション内へトレーナーの同行は可能ですが、選手同様にアイソレーション内へ入った場合は、自由な出入りはできません。

アイソレーション外へ出た場合は、再入場はできませんので予めご了承ください。

また、携帯電話等の電子機器類の持ち込みは可能ですが、基本的には利用を控えてください。

決勝課題等の情報を入手するために、不正な利用がおこなわれたとスタッフが確認した場合は、失格となる可能性があります。

利用したい場合は、事前にアイソレーション内スタッフへ許可の確認をお願いします。

---

## 1-10. その他

---

次のセッションラウンドの選手は、競技エリア入場口からセッション終了後の選手が退場したのち、スタッフの指示により入場してもらいます。

好きなエリアに移動し競技開始まで並んで待機してください。

オブザベーション(下見)は、必ず競技エリアの外から行ってください。ご自身の競技時間以外に、エリア内へ立ち入ることはできません。

ホールドへの接触禁止: 自分の競技順になり壁の前に並んでいる間も、競技開始の合図があるまではホールドに触れないでください。

ブラッシングの依頼: 競技開始前にホールドのクリーニングを希望する場合は、担当ジャッジにお申し付けください(選手自身によるブラッシングは不可)

原則、受付時間に間に合わなかった場合は、セッションに参加できませんが、事前に遅れる旨を受付時間内に会場へ連絡いただいている場合のみ、途中参加可能です。

ウォーミングアップウォールは受付していない選手もご利用いただけます。

---

## 2. 決勝

---

### 2-1. 決勝方式

決勝ラウンドは Men's Division1/Women's Division1 のみサドンドレス方式。  
Women's Division1・Men's Division1 以外は決勝オンサイト方式(1 課題のみ)となります。

### 2-2. 決勝定員(準決勝上位者)

U-8(3 位まで)、U-10(3 位まで)、U-12W(3 位まで)、U-12M(3 位まで)、U-15W(3 位まで)、U-15M(3 位まで)

Women's Division4(3 位まで)、Women's Division3(3 位まで)、Women's Division2(3 位まで)

Women's Division1(6 位まで)、Men's Division5(3 位まで)、Men's Division4(3 位まで)、Men's Division3(3 位まで)、Men's Division2(3 位まで)、Men's Division1(6 位まで)

### 2-3. サドンドレス方式とは

サドンドレス方式とは(例)1 ラウンド 6 名→2 ラウンド 4 名→3 ラウンド 2 名→優勝

以上のようにラウンドが進むにつれて人数が減っていきます。  
(各ラウンドの上位が次のラウンドへ)  
最終的には2人で対一の勝負となって優勝を決めます。

#### 2-4. オブザベーションタイム・競技時間

決勝のオブザベーションタイム1分間(各カテゴリーごとに)  
競技時間は2分。

Men's Division1/Women's Division1のみ競技時間は3分となります。

#### 2-5. トライ回数・順位の決め方

競技時間内なら何度でも挑戦可能です。  
制限時間内に壁にとりついている場合はそのトライは有効となります。

到達高度が一番に優先され、到達高度が同じ場合はトライ回数で順位を決め、上位者が次のラウンドに進出(または優勝)。

#### 2-6. 到達高度(ノーマル/プラス)

到達高度にはホールドを保持した場合の「ノーマル」と、次のホールドを保持するために確実な動きをした場合の「プラス」があります。

#### 2-7. 同着時の扱い

Women's Division1・Men's Division1以外のカテゴリーは、決勝ラウンドで同着の場合、準決勝結果をもとに順位を確定します。

準決勝の順位も同着の場合は、さらにもう一つのラウンド(スーパーファイナル)で競技をおこないます。

スーパーファイナルの競技は、該当カテゴリーの競技終了後すぐにおこなわれます。

スーパーファイナルで同着の場合は、同着での表彰となります。

Women's Division1・Men's Division1以外のカテゴリーは完登の場合でもトライ回数・準決勝結果が反映されます。

Women's Division1・Men's Division1 のカテゴリーは、決勝 1 ラウンド目で同着の場合、準決勝結果をもとに順位を確定します。

2・3 ラウンド目で同着の場合は前ラウンド結果をもとに  
(2 ラウンド目の場合は、1 ラウンド目の結果を優先し、さらに同じ場合は準決勝結果から。

3 ラウンド目の場合は、2 ラウンド目の結果→1 ラウンド目の結果→準決勝の結果) 順位を確定します。

また、完登の場合のみトライ回数・準決勝結果に関係なく結果は 1 位となり、次のラウンドに進出できます。

上記の全てが同着の場合は、さらに 4 ラウンド目(スーパーファイナル)で競技をおこないません。

スーパーファイナルで同着の場合(高度・トライ回数が同じまたは完登)は、前ラウンドの結果に関係なく同着での表彰となります。